

これまでの再編整備にかかる経過について

参考資料

事項	供用開始(予定)	工事費	工事費増額の要因等
平成30 (2018) 年3月	川崎区における市民館機能のあり方	平成34 (2022) 年度	—
平成31 (2019) 年3月	再編整備に関する基本構想	平成34 (2022) 年度	—
令和3 (2021) 年1月	再編整備基本計画	令和6 (2024) 年度	約48.0億円 ●特定天井、耐震対策（約2年） ※ホール天井改修、耐震補強工事等
令和4 (2022) 年8月	管理運営計画	令和6 (2024) 年度	約49.6億円 ●労務費の増額（約1.6億円）
令和5 (2023) 年2月	実施設計 (常任委員会報告)	令和7 (2025) 年1月	約69.1億円 ●物価高騰による増額（約8億円） ●詳細設計による増額（約12億円）
令和5 (2023) 年8月	入札不調 (常任委員会報告)	令和8 (2026) 年2月	約79.1億円 ●再発注に向けた取組、再入札等（約10か月） ●工事期間の変更（約3か月） ●物価高騰及び工期変更による共通費の増額（約10億円）
令和6 (2024) 年3月	工事請負契約締結	令和8 (2026) 年2月	約77.4億円 (契約額) —
令和6 (2024) 年10月	シートパイルの除却等、 特例措置 (常任委員会報告)	令和8年 (2026) 9月	約84.2億円 ●シートパイルの除却等（約7か月） ●シートパイル除却等による増額（約2.9億円） ●特例措置による増額（約3.9億円）